

災害概略シート

項 目	内 容
災害の名称	寛文近江・若狭地震
災害の種別	地震
概 要	近畿地方北部一帯に被害を与えた内陸地震
時 代	近世（江戸時代初期）
発生年月日	寛文2年5月1日（1662年6月16日） 巳刻～午刻（午前9～午後1時頃）
発生場所	震源：福井県南西部（若狭国）の日向断層及び滋賀県（近江国）西部の花折断層北部
被災規模	死者約700～900人、倒壊家屋約4,000～4,800軒
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖沿岸の城郭や市街地に大きな被害を与え、琵琶湖西岸の葛川谷では大規模な土砂崩れ（町居崩れ）が発生した。福井県南西部の三方五湖周辺では地盤が隆起し、小浜、京都、伏見をはじめとして、近畿地方北部の都市にも被害を与えた。 ・花折断層南部や琵琶湖西岸の活断層が、この地震で活動していないとすれば、今後これらを震源とする地震の発生によって、京都や大津で多大な被害が生じる可能性がある。